

総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会
省エネルギー小委員会ガス・石油機器判断基準ワーキンググループの
開催について（案）

1. 趣旨及び審議事項

現行のトップランナー制度では、「ガス温水機器」と「石油温水機器」が対象機器として指定されており、エネルギー消費性能の向上が図られている。

平成22年7月7日、総合資源エネルギー調査会省エネルギー基準部会第1回ガス・石油機器判断基準小委員会において、ガス温水機器及び石油温水機器の標準的な使用実態（給湯量、給湯温度、保温時間、周囲温度等）及び再現性を考慮した、モデル的な温水の使い方を想定した「標準使用モード」を用いた新たなエネルギー消費効率の測定方法が一般社団法人日本ガス石油機器工業会において検討されていたため、この「標準使用モード」が策定され次第、データを収集し、検討を行うこととされた。

平成23年3月22日、ガス温水機器、石油温水機器の新たな熱効率測定方法が「家庭用ガス・石油温水機器のモード効率測定法」（JIS S 2075：2011）」として策定された。

そこで、ガス温水機器及び石油温水機器の新しい判断の基準等について検討を行うべく、ガス・石油機器判断基準ワーキンググループを開催することとする。

2. 委員構成

ガス・石油機器判断基準ワーキンググループの委員構成については、学識経験者、消費者団体等により構成する。なお、ワーキンググループ座長及びワーキンググループに属すべき委員は、委員長が指名する。

3. スケジュール

- ・2017年4月に第1回を開催（現状、対象範囲、エネルギー消費効率、測定方法）。
- ・2017年夏以降に第2回を開催予定（目標年度、区分、目標基準値、表示事項等、取りまとめ）。